

## 適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

報告日：2019年8月19日

### 【適正利用・エコツーリズム WG に関する特記事項】

本 WG は、地域連絡会議適正利用・エコツーリズム部会と合同で 2010 年から「適正利用エコツーリズム検討会議」として開催している。検討会議は、「保全と利用に関する調整を管理主体関係者と専門家、地域関係者が同じ立場で検討する場」である。そして知床世界自然遺産地域管理計画および知床エコツーリズム戦略に基づき、世界遺産地域の資源の適正な利用及びエコツーリズムを含む観光の持続可能化を推進している。その基本原則は次のとおり。

- 遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上
- 世界の観光客への知床らしい良質な自然体験の提供
- 持続可能な地域社会と経済の構築

検討会議では、戦略に基づく提案制度による提案の検討とモニタリングを毎回議題にしている。なお、長期モニタリング及び既存ルールの見直しなど、WG として検討すべき課題の増加に伴い、専門家同士の意見交換が必要と判断し、2018 年度から適正利用・エコツーリズム WG を単独開催している。

### 1. 知床エコツーリズム戦略の運用状況

提案が承認され、現在取組が進められている 3 件の状況は以下のとおりである。また、過去の提案も含めた検討状況は別紙のとおりである。

案件名	提案者	運用状況と課題
赤岩地区昆布ツアー	羅臼町観光協会	<p>2016 年の検討会議で、半島先端部での文化資源を活用した教育目的のツアーとして試行期間 5 年間で承認した。2018 年度のツアー参加者は 68 人であり、2019 年度は計 20 人（ツアー催行 3 回）が参加した。また、昨年度地域内の合意形成及び社会教育を目的にモニターツアーに招待した羅臼町民に対してヒアリングを実施している。</p> <p>参加者が増加した一方、ツアーの経営的持続可能性やツアー実施の意味を適切に示す名称について検討が必</p>

		要。
厳冬期の知床五湖 エコツアー事業	斜里町観光 協会	<p>冬期閉鎖されていた道道知床公園線を除雪し、人数制限、ガイド同伴のうえで冬期の知床五湖をまわるエコツアーを実施している。平成31年1月22日から3月22日のツアー期間中、計2,800名が参加した。</p> <p>しかし、一般利用のアクセスコントロールをする手法や手段が難しいため、関係者で協働しながら検討することになった。</p>
知床観音岩 COAST WAY フットパス コース	知床羅臼フ ットパスク ラブ	<p>遺産地域で行われている漁業現場の見学と同地域での散策を求める相泊から観音岩までの徒歩利用者の増加に対応したフットパス利用について提案があった。</p> <p>フットパスとしての利用が適しているか、どのような利用者を想定するか、利用に対する管理をどのように行うかを部会で検討している。なお、検討期間の延長の要望があり、検討には時間を要する見込み。</p>

## 2. 個別地域における取り組み状況と課題

### ○知床五湖における利用調整地区制度の運用

高架木道と地上遊歩道（ヒグマ活動期及び植生保護期）の運用を維持する。地上遊歩道の更なる利用の安定化や質の高い自然体験を提供するため、開園～7月をヒグマ活動期、8月～閉園を植生保護期とすることを検討している。

### ○カムイワッカ地区におけるマイカー規制

令和元年も引き続き8月1日～25日の25日間でマイカー規制を実施する。なお、混雑緩和自体を目的としたものから、利用者へのサービス向上と周囲の自然環境保全の効果も持つ「前向きな」交通規制への移行を検討する必要があるため、他のWGとの協働や連携を提案したい。

### ○ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働

知床ウトロ海域環境保全協議会として、知床海鳥WEEKや自然センターでの企画展等の各種イベントや海鳥のモニタリングを引き続き実施予定。知床ウトロ海のハンドブックの売上収入を海鳥及びその生息環境の保全活動と普及啓発活動に充てているが、改訂が必要か検討中である。

### 3. 主な検討事項や今後の予定

#### ○検討会議

- ・知床エコツーリズム戦略の運用をはじめとする知床世界自然遺産地域の適正な利用及びエコツーリズムの推進を図るため、引き続き年2回実施予定。
- ・知床観音岩 COAST WAY フットパスコース部会について、部会での最大検討期間（1年）を迎えるため、検討期間の延長について検討会議に提案予定。

#### ○OWG

- ・長期モニタリング等について科学的助言を得るため、引き続き年2回実施予定。
- ・長期モニタリング計画の見直しを受け、新たに設けた「No. 19 適正利用に向けた管理と取組」「No. 20 適正な利用・エコツーリズムの推進」についてモニタリングが適切に実施されるよう科学的助言を行う。また、モニタリング項目及び評価項目の評価方針について検討する。
- ・北海道運輸支局をはじめとする地域外の資源利用者とのコミュニケーションを図り、北海道観光局等を中心に、民間関係者も含めた知床の適正な利用について検討する。

## 知床エコツーリズム戦略に基づく提案の進捗状況

H24年度 ①:10月 ②:3月	H25年度 ①:7月 ②:2月	H26年度 ①:7月 ②:1月	H27年度 ①:9月 ②:12月 ③:3月	H28年度 ①:9月 ②:3月	H29年度 ①:10月 ②:2月	H30年度 ①:9月 ②:2月
---------------------	--------------------	--------------------	--------------------------	--------------------	---------------------	--------------------

## 実施部会

	提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	条件付き 承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告
赤岩地区昆布ツアー部会 【知床羅臼町観光協会】											
外国人旅行者向け情報発信の強化部会 【知床財団】				提案	経過 報告	経過 報告	経過 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	報告 解散

## 検討部会

	提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	自主 継続	報告
知床観音岩COAST WAY フットパスコース部会 【知床羅臼フットパスクラブ】								提案 経過 報告

## 終了・解散した部会

	提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	自主 継続	報告
知床野生動物エサやり禁止キャンペーン企画部会 【知床斜里町観光協会】								
知床沼部会 【羅臼山岳会】			実施 報告	羅臼山岳会が定点撮影による植生モニタリングを行い、毎年、環境省・林野庁・羅臼町に調査結果を共有する。調査結果は必要に応じて検討会議で報告する。				報告
知床ロングトレイル・プロジェクト部会 【知床ガイド協議会】			提案 経過 報告	取り 下げ				
知床条例検討部会 【北海道生物多様性保全課】					提案 承認			
先端部地区利用の心得の点検検討部会 【環境省釧路自然環境事務所】					提案	経過 報告	経過 報告	承認

## 個別部会等(報告)

	提案	経過 報告	経過 報告	経過 報告	承認	予定 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	承認	○	○	○	○
知床五湖冬期利用促進事業検討部会 【知床斜里町観光協会】														
知床五湖地区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カムイワッカ地区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウトロ海域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
羅臼湖地区	○	○					羅臼湖部会はH24年度をもって解散し、「知床世界遺産施設等運営協議会 羅臼湖歩道維持管理部会」に移行 維持管理部会はH30年度をもって解散し、議論は「知床世界遺産施設等運営協議会」で実施予定							

## 報告事項

	○	○	○	○
知床五湖地区周辺における早期利用 【知床斜里町観光協会】				○ ○
スカイバス 【知床斜里町観光協会】				○ ○

※着色は事業(取組)の実施期間  
※知床沼については、植生に変化(悪化)が生じた際に報告【平成30年度以降】